

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		04 03 19	中期総合計画主要施策番号		3-04	担当課	部・課	社会部長寿福祉課	
事業名		認知症地域支援体制構築等推進事業					内線	2436	
							E-mail	choju@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・認知症高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域で支え合う仕組みをつくる。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]							
		・認知症高齢者は増加しているが、認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが困難な状況にある。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]							
	事業内容	・地域住民の認知症に対する理解が不足している。 ・地域で支え合うネットワークが整っていない。							
[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]									
実施期間	H19 ~ H21	根拠法令等	「認知症対策等総合支援事業の実施について(地域支援体制構築等推進事業)」 厚生労働省老健局長通知						
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	・認知症の人を住み慣れた地域で支える仕組みづくりをモデル地域で実施し、県内他市町村へ普及する。		・モデル地域において、様々な活動により、住民が認知症を理解し、支え合うネットワークを構築する。 ・モデル地域の成果を発信する発表会を開催し、モデル地域での活動を他の市町村に普及させる。			・モデル地域において、住民自身による啓発活動や徘徊SOS模擬訓練による体験を通じ、住民意識調査では、認知症になっても1人の尊厳ある人間として接するといった基本的な理解の深まり等が見られ、ネットワーク形成が進んだ。 ・発表会の開催により、モデル地域の成果を県下に発信した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	5,478	11,495	11,426	国庫・県単	国庫	
	決 算 額 (B)		千円	5,478	11,495		実施方法	委託	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	0	0	0	歳出節別内訳等	委託料:10,372 (単位:千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.10	0.10	0.10			
	概算人件費 (C)		千円	714	715	715			
概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	6,192	12,210	12,141				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	推進会議の運営(各年2回)		開催回数	2	2	2	成果発表会の開催(H21.2.12)		
	モデル地区 地域資源マップ作成		対象地区	1	49	1			
	" 意識調査の実施(全戸対象)		有無	有	有	有(2地区)			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明	・認知症高齢者を地域で支えていく必要性は高まっており、そのための体制づくりは、各地域で急務となっている。 ・厚生労働省の補助要綱では、実施主体を都道府県としており、当面、県が関与して各地域での地域支援体制の構築を推進していく。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
課題の総括		・認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民の理解のもと認知症高齢者とその家族を地域で支えあうネットワークを構築する必要があるため、当該補助制度を有効に活用し、地域支援体制の構築を進めていく。							